

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成30年4月17日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立新池中学校 第3学年，全生徒

実施生徒数（ 148 人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び数学及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「生徒アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、疎らに分布している傾向がある。

平均正答率 (本校 73/泉佐野市 72/大阪府 75/全国 76.1)

「B 区分問題」

・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中間層に多く分布している傾向がある。

平均正答率 (本校 56 / 泉佐野市 55 / 大阪府 59 / 全国 61.2)

2 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【書くこと】 ○書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討することが苦手である。 4 一 意見文の下書きに一文を書き加える意図として適切なものを選択する (56. 1/62. 8) ○段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にすることに少し課題がある。 4 二 段落の内容を入れ替えて書き直す理由として適切なものを選択する (73. 6/79. 4) 【読むこと】 ○段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てることに課題がある。 5 一 本文の第六段落の説明として適切なものを選択する (69. 6/76. 3)	【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 8 三ア 適切な語句を選択する（立場の異なる両者の主張は<u>終始一貫</u>して変わらず、最後まで結論が出なかった） (69. 6/77. 7) 8 三カ 適切な語句を選択する（わたしが健康になったのは、<u>ひとえに</u>母のおかげです） (58. 1/65. 4)

国語B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【読むこと】 ○文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えることに課題がある。 1ー グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する (40.9/45.9) ○文章の構成や展開について自分の考えをもつことに課題がある。 1二 複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択する (58.4/64.3)	○登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てることに課題がある。 3二 文章中の表現について語った人物として適切なものを選択する (61.1/68.2) 【話すこと聞くこと】 ○全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すことが苦手である。 2三 ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する (43.0/54.6)

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、疎らに分布している傾向がある。

平均正答率（本校 63／泉佐野市 62／大阪府 65／全国 66.1）

「B区分問題」

- ・平均正答率の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比較すると下位層がやや多く上位層がやや少ない傾向がある。

平均正答率（本校 41／泉佐野市 40／大阪府 46／全国 46.9）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と式】 ○数直線上に示された負の整数を読み取ることが概ねできている。 1 (1) 数直線上の点が表示する負の整数の値を読み取る。(89.9/94.6) ○絶対値の意味を理解することに課題がある。 1 (2) 絶対値が6である数を書く。(53.7/69.0) ○数量の大小関係を不等式で表すことに課題がある。 2 (1) 「1個 a kgの荷物3個と1個 b kgの荷物4個の全体の重さは15 kg以上である」という数量の関係を表した不等式を書く。(34.2/41.5) ○単項式どうしの除法の計算をすることは概ねできている。 2 (2) $6a^2b \div 3a$ を計算する。(87.9/91.0) ○簡単な比例式を解くことは概ねできている。 3 (2) 比例式 $x:20=3:4$ を解く。(87.2/87.8) 【図形】 ○回転移動した図形をかくことに課題がある。 4 (3) 長方形ABCDを、点Aを中心として時計回りに90°だけ回転移動した図形をかく。(58.4/66.1) ○見取図、投影図から空間図形を読み取ることが概ねできる。 5 (3) 与えられた円柱の見取図から、その円柱の投影図を選ぶ。(80.5/83.7)	○四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の1/3であることを理解することに課題がある。 5 (4) 底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角錐の体積の関係について、正しいものを選ぶ。(49.7/57.6) ○多角形の内角の和の性質を理解することに課題がある。 6 (2) 五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを90°に変えたときの内角の和の変化として正しいものを選ぶ。(64.4/75.7) ○2つの三角形が合同であるために必要な辺や角の相等関係について理解することに課題がある。 7 (1) $\triangle ABC$と$\triangle DEF$が合同であるための条件として、正しいものを選ぶ。(63.1/72.0) ○証明の必要性和意味を理解することに課題がある。 8 対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ。(39.6/45.5) 【関数】 ○反比例について、グラフと表を関連付けて理解することが概ねできている。 9 (3) 反比例のグラフから表を選ぶ。(61.1/52.8) ○一次関数の意味を理解することに課題がある。 12 歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ。(38.3/36.4)

【資料の活用】 ○与えられた資料から中央値を求めることが概ねできている。 1 4 (2) 反復横とびの記録の中央値を求める。 (79. 9/74. 0) ○多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解することに課題がある。 1 5 (1) 1 枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ。 (19. 5/40. 2)	○表などを利用して、確率を求めることに課題がある。 1 5 (2) 大小 2 つのさいころを同時に投げるとき、和が 8 になる確率を求める。 (61. 7/71. 3)
---	---

数学B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と式】 ○事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することに課題がある。 2 (2) はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも 4 の倍数になる説明を完成する。 (38. 9/37. 5) ○里奈さんの計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 5 (2) 通常料金を a としたときの団体料金の 1 0 人分が通常料金の何人分に当たるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する。 (7. 4/10. 4) 【図形】 ○証明を振り返り、証明した事柄を基にして、新たな性質を見いだすことに課題がある。 4 (1) 証明されたことから、新たにわかることを選ぶ。 (45. 0/55. 4) ○発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すに課題がある。 4 (2) 平行四辺形 $ABCD$ の外側に 2 つの点 E, F を取っても、四角形 $EBFD$ は平行四辺形となることの証明を完成する。 (34. 2/42. 4) ○付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することに課題がある。 4 (3) 平行四辺形 $ABCD$ を正方形 $ABCD$ に変えたときの四角形 $EBFD$ がどのような四角形になるかを説明する。 (32. 2/42. 3)	【関数】 ○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。 3 (3) A 駅からの道のりが 6 km の地点において、列車 A が通ってから列車 E が通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する。 (11. 4/13. 2) 【資料の活用】 ○与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することに課題がある。 1 (1) 全校生徒 3 0 0 人に対する上位 4 曲を回答した生徒数の割合を求める。 (44. 3/55. 7) ○不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することに課題がある。 1 (3) 全校よりも 1 年生の回答用紙によるくじ引きの方が曲 F が選ばれやすいことの理由を確率を用いて説明する。 (26. 2/36. 2) ○与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することに課題がある。 5 (1) S 社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く。 (12. 8/16. 0)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	57.5	53.9		3.6
数学の勉強は大切だと思いますか	82.3	83.6		1.3
数学の授業の内容はよく分かりますか	71.9	71.0		0.9
数学ができるようになりたいと思いますか	83.6	92.5	◇	8.9
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	67.9	70.3		2.4
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	33.4	38.7	◇	5.3
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	64.7	72.9	◇	8.2
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	66.0	70.4		4.4
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	66.0	69.2		3.2
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	73.2	80.6	◇	7.4
今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか	92.8	95.1		2.3

○数量や図形などについての知識・理解を問う問題において、全国と比較して低い傾向にあることから基本的な知識の定着に課題がある。この課題を改善するためには、授業内での定着や復習などを促し、内容の定着を図っていく。

○解き方や語句の意味を問う問題での正答率が、それ以外の問題と比べ低い傾向にある。その力を伸ばすためには、公式を授業で指導する際に、その根拠をより丁寧に指導をすることや数学的な語句を答える発問をしていく。

○記述式の問題において、正答率が低いことに合わせて、無回答率が高くなっている。このことから、自分の考えを上手く言葉で表現できず、そのことに自信が持てていないことが考えられる。この課題を改善するためには、授業の中で解答に至るまでの過程や根拠を説明する場面を作っていく。

○数学が生活の中で活用できないか、社会の中で役に立つかという質問に対し回答率が低いことから数学の必要性や有用性を感じられていない生徒が多いことがわかる。この課題を改善するためには、普段の授業や取組で、活用する問題を多く取り入れ、有用性を実感させていく。

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じではあるが、全国とくらべ上位層がやや多く、下位層にやや偏りがある。

平均正答率（本校 64／泉佐野市 61／大阪府 64／全国 66.1）

- ・主として「知識」に関する問題では、全国平均正答率を上回り、全体的に学力の定着ができてきている。

平均正答率（本校 69／泉佐野市 65／大阪府 67／全国 67.9）

- ・主として「活用」に関する問題では、全国平均正答率と比べ、課題が見受けられる。

平均正答率（本校 60／泉佐野市 59／大阪府 62／全国 64.9）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

理科「知識」	特 徴 が み ら れ た 設 問
【化学的領域】 ◇濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できる。 2（2）3.0%の濃度 理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用できるかどうかをみる (52.3/46.9) 【生物的領域】 ○神経系の働きについての知識を身に付けている。 5（1）「運転中に運転士に話しかけるとブレーキを踏むのが遅れるのではないか」という予想を科学的に探究する場面において、刺激と反応についての知識と自然の事物・現象を実験の装置や操作に対応させたモデル実験の知識・技能を活用することができるかどうかをみる (67.8/57.2) 【物理的領域】 ○オームの法則を使って、抵抗の値を求めることに課題がある。 6（2）抵抗 自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに疑問をもって科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる (41.6/51.9)	【地学的領域】 ◇地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることの知識を身に付けている。 7（1）緊急地震速報による避難訓練の後、地震を科学的に探究する場面において、地震の揺れの伝わり方や光と音の伝わり方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる (61.1/55.1) 【化学的領域】 ○アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けている。 8（1）火を使わないで発熱する商品の仕組みを科学的に探究して実験ノートにまとめる場面において、化学変化と熱についての知識と問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる また、探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見いだし探究を深めようとしているかどうかをみる (87.2/83.5)

理科「活用」	特 徴 が み ら れ た 設 問
【生物学的領域】 ◇「アサリが出した砂の質量は明るさに関係しているとはいえない」と考察した理由を指摘することに課題がある。 2（3）理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用できるかどうかをみる (74. 5/79. 7) ○1つの要因を変えるとその他にも変わる可能性のある要因を指摘することに課題がある。 2（4）理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用できるかどうかをみる (43. 0/61. 3) 【地学的領域】 ◇シミュレーションの結果について考察した内容を検討して改善し、台風の進路を決める条件を指摘することに課題がある。 3（3）コンピュータを使ったシミュレーションで台風の進路や風向を科学的に探究する場面において、日本の天気の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる (45. 0/52. 3) 【化学的領域】 ◇炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘することに課題がある。 4（2）図書便りに紹介されていたファラデーの「ロウソクの科学」を読んで、ガスバーナーを使った燃焼を科学的に探究する場面において、実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる (36. 9/44. 1)	【生物学的領域】 ◇反応の時間を測定する装置や操作を刺激と反応に対応させた実験を計画することに課題がある。 5（2）「運転中に運転士に話しかけるとブレーキを踏むのが遅れるのではないか」という予想を科学的に探究する場面において、刺激と反応についての知識と自然の事物・現象を実験の装置や操作に対応させたモデル実験の知識・技能を活用することができるかどうかをみる (57. 7/62. 8) 【化学的領域】 ◇探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見いだし探究を深めようとすることに課題がある。 アルミニウムは水の温度変化に関係していることについての新たな問題を見い出すことに課題がある。 8（3）火を使わないで発熱する商品の仕組みを科学的に探究して実験ノートにまとめる場面において、化学変化と熱についての知識と問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる また、探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見いだし探究を深めようとしているかどうかをみる (61. 7/74. 0) 【地学的領域】 ◇植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘することに課題がある。 9（2）部屋に見立てた容器に植物を入れて湿度の変化を科学的に探究する場面において、蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる (10. 7/19. 4)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	57.5	62.9	◇	5.4
理科の勉強は大切だと思いますか	64.0	70.6	◇	6.6
理科の事業の内容はよく分かりますか	71.3	70.0		1.3
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	64.7	77.6	○	12.9
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	38.6	45.4	◇	6.8
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	42.5	55.7	○	13.2
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	12.4	22.2	◇	9.8
理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか	24.9	41.4	○	16.5
理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行きましたか	45.1	87.1	○	42.0
観察や実験を行うことは好きですか	63.4	82.1	○	18.7
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	31.4	58.5	○	27.1
理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	44.5	72.3	○	27.8
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	41.2	59.0	○	17.8
今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	93.5	95.7		2.2

○主として「知識」に関する問題の平均正答率が、全国平均に比べて高い傾向にあることから基礎学力の定着が測れていると思われる。

○評価の観点で見ると、「観察・実験の技能」「自然現象についての知識・理解」が全国平均にと比べ高い傾向にあることから基礎的な学力の定着が測れていると思われる。

○主として「活用」に関する問題の平均正答率が、全国平均に比べて低い傾向にあることから、授業での、観察や実験の時間を増やし、その中で自分の考えを周囲と共有し、実際に実験や観察を行い、その結果から考察していく。

○問題形式では「記述式」において全国平均に比べて低い傾向にあることから、さらに自分の意見を班活動などで表現する時間をつくり、それを文章でまとめることを増やす。

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	○自己肯定感は全国を下回っており、将来の夢や目標をもつことは、全国を大きく下回っている ○規則正しい生活は、全国を大きく下回っている ○家の人との会話や地域や社会とのつながりは、全国を大きく下回っている	○自分には、よいところがあると思いますか (69.3/78.7) ○将来の夢や目標を持っていますか (60.1/72.4) ○朝食を毎日食べていますか (80.4/91.9) ○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか (64.0/74.2) ○家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか (64.7/76.0) ○今住んでいる地域の行事に参加していますか (30.1/45.6) ○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか (50.3/59.3) ○新聞を読んでいますか (7.2/13.9)
【家庭学習の様子】	○家での学習は、全国を下回っている	○家で、学校の授業の予習・復習をしていますか (45.1/55.2) ○家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか (64.7/71.3) ○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか （学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） 3時間以上 (26.8/14.3) 2時間以上、3時間より少ない (25.5/25.9) 1時間以上、2時間より少ない (18.3/34.2) 30分以上、1時間より少ない (14.4/16.6) 30分より少ない (12.4/7.9) 全くしない (2.6/4.9)
【学校での学習の様子】	○地域と連携した学習は、全国を大きく下回っている	○1、2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか (58.2/68.7)

本 校 の 取 組

◎これまでの取組

- ・本年度より、「確かな学び」を育む推進事業のフラッグシップ校として、TM 担当者を中心に、全教員が授業改革・改善に取り組んでいる。
- ・泉佐野スタンダードを改良し、新池スタンダードを作成し、全教員で授業についての共通認識を図っている。
- ・10 月に相互授業参観を実施した。
- ・授業担当者向けのアンケートを実施し、日々の授業の振り返りを行っている。
- ・「確かな学び」推進委員会が主催して、学期ごとに研究授業を実施している。今年度は、教員の「協同的な学びを取り入れた授業づくり」をテーマに、新池スタンダードを用いて授業力向上に力を入れている。
- ・研究授業の指導案の事前検討会と模擬授業を実施している。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、校内研修を実施している。
- ・1 年生の英語科と 2 年生の国語科、3 年生の数学科で少人数習熟度別指導を行っている。
- ・全学年で朝の学習を実施している。テスト前や、授業内容の定着のために、大阪府教育委員会から配信されている「力だめしプリント」を活用している。
- ・e ライブラリの、学習プリントや全国入試問題の過去問を利用して、学習内容の定着を図っている。
- ・まなびんぐサポート事業を活用し、1 年生の希望者に対して放課後学習を実施している。
- ・長期休業中には、全学年で補充学習を実施している。
- ・1 年生では、テスト前に補充学習を実施し、全学年の教員で関わって行っている。
- ・家庭学習を定着させるために、学年や学校全体でマイチャレンジ（自学自習ノート）の取組を行っている。
- ・情報教育についての授業を実施している。その中で、スマートフォン・携帯電話の使用に関する学習を通して情報モラルについて理解を深めている。
- ・市内統一アンケートの結果を分析・検証し、指導につなげている。
- ・泉佐野市教育委員会主催の授業・保育づくり研修においても、研究授業を実施している。
- ・学期ごとに、生活アンケートを実施し、生徒一人ひとりの教育相談も行うことで、生徒の状況把握に努めている。
- ・6 月に hyper-QU を実施し、その分析・検証を校内研修で行い、本校の生徒の状況把握や理解に全職員が努めている。
- ・新池中学校区の小学校と合同で夏季研修を行った。
- ・4 月に生徒指導に関しての校内研修を実施し、全職員が同じ方向性を持って指導できる環境や体制を構築している。
- ・生徒会や部活動に参加している生徒を中心に、青少年指導員や PTA の方々とともに校区内の地域活動を行っている。
- ・11 月に実施した新池ふれあいフェスタでは、地域の方々と生徒会で、防災に関する取組を行った。

◎これからの取組

- ・12 月に第 2 回の相互授業参観を実施する。
- ・2 回目の hyper-QU を 11 月に実施し、生徒の状況がどのように変化したのかを校内研修で分析・検証し、生徒一人ひとりの状況や学級の状態を的確に把握することにより生徒理解を深めながら、より適切な指導や対応につなげていく。
- ・学力向上推進委員会主催の研究授業を 12 月・1 月・3 月に実施する。
- ・大阪府教育委員会から配信されている「学習指導ツール」の中の「ワークブック問題」を積極的に活用する。
- ・生徒授業アンケートの実施と結果分析を行う。